



2年半ごしの
オンライン開催

大会
テーマ

わたしたちが磨く！〇〇のチカラ ～社協職員のエナジーとは！？～

【開催趣旨】

2020年3月に開催を予定していた第20回全国社協職員のつどいは延期を余儀なくされました。新型コロナウイルス感染拡大の影響は長期化し、わたしたち社協職員も変化する状況のなか工夫をしながら特例貸付や地域活動に取り組んできました。

20回大会を記念して結成した近畿2府4県の合同実行委員会は、今できる形としてオンラインでの開催を決定し、当初のテーマや目的は大きく変えず、8つの分科会とスピンオフ企画をすすめてきました。

事前動画配信では、先輩のお話から社協職員としての熱い『エナジー』（源・原点）を再確認します。今だからこそ「社協」という同じ屋号を持つ私たちが、そのアイデンティティを確かめ合い、住民とともに新たな未来を切り拓くための『〇〇のチカラ』を磨きませんか。総務や介護事業などの地域以外の担当のみなさんもぜひご参加ください。担当業務や職種、経験年数を問わず、全国の仲間とつながりましょう。

全国のみなさん
お待たせしました！

〈スピンオフ企画〉
全国社協職員のつどいの
キャラクターが誕生。
ご応募いただいた中から
名前を発表します！



日程：2022年7月17日（日）オンライン開催

プログラム

概要は裏面、詳細はWEBで紹介！

全体会①	事前動画配信 (オンデマンド)
オープニング	12:30～ 12:55
分科会 ①～⑧	13:00～ 16:00
全体会② クロージング	16:10～ 17:00

お申込み・参加方法

【対象】全国の社会福祉協議会職員、関コミ会員

【定員】500名（参加特典：日めくりカレンダー）

【参加費】3,000円

【申込方法】Web申込フォーム
(右の二次元コードを読み込み
必要事項を入力してください)

【締切】6月17日（金）まで

【オンライン参加について】

- ・当日はZoomによるオンライン開催です。
- ・パソコン等の端末を1人1台ご用意ください。
- ・参加に必要なURL等は参加費のご入金を確認後開催2週間前頃にメールでお伝えします。

※入金後の返金はできませんのでご了承ください。



(申込フォーム)

〈スピンオフ企画〉

参加者全員にもれなく、「全国社協ワーカー日めくりカレンダー」をプレゼント！！

全国の社協ワーカーの地域福祉実践の中から生まれた「魔法のコトバ」を結集した日めくりカレンダーを作成しました。

どのワーカーさんのどんな言葉が掲載されているかは見てのお楽しみ。毎朝のエナジー補給のため、「つどい」に参加して非売品のカレンダーを手に入れよう！！



たくさんのご参加まっています！他にもスピンオフ企画を計画中！
詳しくはホームページ&Facebookをチェックしてね！



主催：関西社協コミュニティワーカー協会・第20回全国社協職員のつどい実行委員会

後援：滋賀県社会福祉協議会・京都府社会福祉協議会・京都市社会福祉協議会・兵庫県社会福祉協議会・神戸市社会福祉協議会
・奈良県社会福祉協議会・和歌山県社会福祉協議会・大阪府社会福祉協議会・大阪市社会福祉協議会・堺市社会福祉協議会

〈第20回全国社協職員のつどい実行委員会（近畿6府県合同実行委員会）府県代表者〉

実行委員長／納田かおり（大阪府・泉佐野市社協） 山田 日和（京都府・長岡京市社協）
西浦 耕太（兵庫県・兵庫県社協） 後藤 文造（奈良県・奈良市社協）
水谷 友彦（滋賀県・東近江市社協） 宮本 朋子（和歌山県・有田市社協）
※運営サポート：Printコーディネーター（代表 窄口真吾）にご協力いただいています。

つどい20 ホームページ



つどい20 Facebook



(↑QRコードはこちら↑)

☆つどいに関する最新情報はホームページ&Facebookにて広報・発信しています☆



全体会①

エナジートーク『社協職員のエナジーとは！？』(事前オンデマンド配信)

社協職員として、一人の生活者として、そしてコミュニティワーカーとして奮闘してきた3人の実践をふりかえりながら、それぞれの「エナジー」(源・原点)に迫ります。そして、3人から全国の社協ワーカーへのメッセージとは・・・

- ◆登壇者：矢島満夫さん(元 阪南市社協 事務局長) 勝部麗子さん(豊中市社協 事務局長)
武田知記さん(京都府社協 事務局長) 進行/荻田藍子さん(兵庫県社協 福祉支援部長)

分科会

8つの分科会から第1希望・2希望を選択してください。複数の分科会には参加できません。各分科会の定員は実行委員を除く参加募集人数です。

第1分科会：対話力×協働＝共生

奈良

モヤモヤしてもええやん！共生にむけて本気で動きたい！

～「困難」から生まれるより良い対話～

「地域共生」に向けて本気で進めようと思っても、上手くいかないことってないですか？コロナ禍において、組織内では「業務多忙でそこまでせなあかん？」。多機関連携では「支援の考え方が違う！」。地域では「私たちには関係ない」。個別支援では本人からも「ほっといて！」等々、ジレンマや葛藤と向き合いますよね。この分科会では、私たちが真剣に悩んだりするからこそ見えてくる「より良い対話」を生み出す視点を共有し、互いにエンパワメントされる場を一緒に創りましょう。

- ◆ファシリテーター：兵庫県立大学 准教授 竹端寛さん 定員30人

第2分科会：コミュニティ×話し合う場づくり＝住民主体

大阪

「話し合う場づくり」が全国でバズる！？

～大阪こだわりの住民主体の実践とその裏側～

コロナ禍や平常時において多様な主体の「話し合う場づくり」をどのように構築してきたか、ワーカーの場づくりのセンスを磨くため、職場内でどのような仕掛けをしているかを、大阪の3つの実践から深め、参加者の皆さんと一緒に「話し合う場づくり」の大切さを全国へバズらせていく。

- ◆実践報告：泉佐野市社協・岸和田市社協・吹田市社協
◆進行：箕面市社協 松浦和平さん 定員80人

第3分科会：田舎²～田舎の事情を自乗する～

和歌山

「ケンタッキーがあったら都会」やと思っちゃーる？

(訳：だと思っていないですか？)

田舎は都会に比べ「地域資源」も「マンパワー」も何もないと日々感じているあなた！田舎の事情を持ち寄り「田舎社協だからこそできること」をみんなで考えよう。

再確認した田舎のちからでエナジーチャージ！

※参加対象：人口3万人以下・高齢化率50%地区あり・社協会員加入率50%以上・ケンタッキーが無いまちの社協ワーカー大募集！(このいずれかに当てはまる田舎社協の方限定)

- ◆コメンテーター：佛教大学 講師 金田喜弘さん 定員40人

第4分科会：地域－社協＝？？？

京都

地域－社協＝地域から社協がなくなったら？

～社協の現在を知り、過去を学び、未来を考える～

「社協の存在意義とは…？」コロナ禍の今だからこそ、過去・現在・未来について語り合い、社協だからこそできる住民との“地域づくり”を考えよう！

- ◆自治型福祉NPO 磯長台の福祉を考えるつどい 代表 佐藤貞良さん(元 大阪府社協 事務局長)
◆一般社団法人 京都ボランティア協会 事務局長 岡野英一さん(元 宇治市社協 事務局長)
◆立命館大学 産業社会学部 教授 田尾直樹さん(元 京都府社協 事務局長) 定員50人

第5分科会：創造×開発＝創発！

兵庫

～いつだって、開発志向のワーカーであるために～

住民や当事者の声から、新しい取り組みを進めようとしても立ちはだかるのは社協内にあるさまざまな「カベ」。この分科会では、このようなカベを乗り越えてきた4名のワーカーから、住民の声を形にする事業の開発や、新しい取り組みをチームで戦略的に進める上でのチームマネジメント等について話を伺い、ワークを通じて、参加者一人一人が次にどんな一歩を踏み出すかを考えていきます。

- ◆宝塚市社協 地域支援部長 山本信也さん
◆兵庫県社協 地域福祉部 生活支援課 外部推進員 永坂美晴さん
◆淡路市社協 事務局長 風 保憲さん
◆黒部市社協 総務課長 補佐 経営課係長 小柴徳明さん 定員35人

第7分科会：若手(1～6年目)×つながる＝OMORO!

6府県 合同

やっばOMORO!な!フレッシュ社協

～私たちが10年後のエース!!～

社協に入職したけど思ってたんとちゃう…って感じたことあらへん!?社協のミッションを考えながら、でも自分の思いも生活も大事にしていきたいよなあ。自分の仕事の向き合い方を一緒に見つけていこうや。仕事のOMOROさに気づくことで、社協のOMOROさに気づけるんちゃうん!!社協職員だれ一人取り残さない、コロナ禍だからこそもっとつながるで!仕事もプライベートも楽しむ二刀流で、私たちから盛り上がっていくんや!

- ◆明石市社協 西川侑花さん 1年目～6年目のフレッシュ大募集! 定員30人

第6分科会：福祉学習×仲間＝福祉楽集

滋賀

こんなことができればいいのに

～妄想を実現する方法～

私たちは、コロナ禍で経済的困窮と社会的孤立の現実に直面し、あらためて地域の支え合いやつながりの大切さを感じました。こうした課題と向き合う方法として、コミュニティオーガナイズングという手法があります。

小・中・高校生をはじめ、大人たちへ伝えていく福祉学習の企画体験をしてみませんか?この場でお会いした社協仲間と今後も繋がっていきけるような機会にしましょう!

- ◆全体進行：大津市社協 事務局次長 山口浩次さん 定員30人

第8分科会：関コミプロジェクト企画

関コミ

コロナ禍で新たに生まれた地域福祉実践共有アンケートから見えてきた「社協の実践力」～特例貸付からの動き～

2021年の「特例貸付に関する社協職員アンケート」では全国から1,184人の声を集約し発信できました。現在実施中の「地域福祉実践共有アンケート」をもとに実践事例提供者の想いを深堀りします。参加者の皆さんとブレイクアウトルームを通じ、地域を耕し支援を創造する社協の実践力について意見交換します。

- 深堀り予定実践例：地域の実態調査、ひとり親世帯への支援など
※地域福祉実践共有アンケート(受付期間:7月末まで)
URL: <https://forms.gle/yPvJbNe519khKU2C9>
◆企画運営：関コミ・全国の社協1000のアクション集プロジェクト 定員90人

全体会②

ミライトーク『わたしたちが磨く!〇〇のチカラ』

つどいで得た私たちの「〇〇力」を共有し、未来を切り拓くためのエナジーアップへ! ◆登壇者：6府県代表者

問い合わせ先

つどい事務局:守屋(堺市社協)、浜辺(大阪市東住吉区社協)、猪俣(阪南市社協)

mail:shakyo.tsudoi.20th@gmail.com HP:https://www.tsudoi20th.print-for.com